

【ねがいはしては】

平成30年2月25日

KYOWA SCHOOL

第328号

「逃げ込む」

雑誌「PHP」2月号に、女優の中江有里さんの記事が載っていました。

—中学に進学すると、突然、勉強についていけなくなりました。すごく真面目に授業を聴いているのに、先生が何を言っているのかわからなくなったのです。(中略) 頑張っているのに、どうにもならなくて、途方に暮れました。—

さらに中江さんに追い打ちが……。

—当時は学校が荒れた時代で、そんななか、私がいじめの標的にされたこともありました。あるとき不良の先輩から「あんた、メンチ切ったやろ」と、いきなりバチンと平手打ちされました。ものすごくショックでした。そんなこともあって、中学時代の三年間は苦しいことだらけの「どん底」でした。—

女優・脚本家・作家という今の職業からは想像もできない過去を経験された方だったんだと……。

そして中江さんを救ってくれたものが「書くこと」だったそうです。日記のようにその日の出来事であったり、好きな歌の歌詞を書き写してみたり、書くことで自分の中にある漠然とした思いを客観的に見られるようになったそうです。

自分を離れたところから見つめる……。

—あの中学校三年間は、確かに「逆境」でした。でも、あとから思えば、苦しかったからこそ、そこから抜け出そうと、もがいて努力して今がある。何もない平穏無事な毎日より私には得るものが大きかったと思います。時々ラジオなどのお仕事で一緒する伊集院光さんは「人はイヤなことや嫌いなことからしか学べない」と仰っていました。—

さて、「逃げる」ということはどういうことなのか、前向きとは言えない語彙です。しかし中江さんは、そうは思っていないらしいようです。絶望解消法には「本を読む」ことがオススメだといっています。

逃げるには二色あると思います。一つ目、逃げたままじっとしている。二つ目、逃げてもそこで自分が活動している。

まさに中江さんのとった「書くこと」ということは、外界から一旦自分を遮断しながらも、その中で自分をいきいきとさせていることになります。

日々、日常の生活の中で、イヤなこと、つらいこと、逃げ出したいことが多くあると思います。まして、中学生高校生時代のように、感受性が育っていく時期にあり、それを乗り越えることのできるような精神力も育たずにいる子どもたちにとっては、「絶望」ということばしか生まれてこないかもしれません。

中江さんは自身の経験を通じて、その逆境からの脱出法を見出されたのだと思います。

日々、子どもたちには勉強に部活、大きなストレスが押し寄せてきます。楽観的に乗り越えることのできる子。そうでない子。家族のあたたかい支えを感じながら乗り越える子。ひとりで粘り強く乗り越える子。そして乗り越えられない子。

乗り越えることのできない子は、じっとしたままの子だと思います。動かなければ、被害を受けることはない。動かなければ何も起こらない。起これば悪いことだらけ、だから動かない方がいい。そう思ってしまう子が多いのかもしれませんが。ただ言えること……今のまま。

逃げることは悪いことではない。逃げ込むことも悪いことではない。逃げ込んだ先で、自分の世界にどっぷりつかって、自分を取り戻そうとしている。自分を楽しむうちに心も体力も自然に戻っていた。そんな体験を中江さんはなさったのかもしれません。

じっと座っていれば、誰かが助けてくれるに違いない……。そう思うのは大きな間違いであることを、赤ちゃんの時代から学ばなければなりません。自分の意思をしっかりと他へ伝える。赤ちゃんは泣きます。幼少の子は、だだをこねて座り込みます。そして、小学校・中学校・高校……。黙ったままの子が増えてきます。その行動は様々……。

中江さんは書いています。

—読書の習慣がない人には、最初は大変かもしれません。でも、いったん本の世界に入り込んでしまえば、つらい日常が忘れられる。逃げるのは決して悪いことではない。意欲があるしるしなのですから。(中略) 生きていけば、誰もがそれぞれの「逆境」に直面すると思います。悩んでいるときは、誰しも自分だけが不安で悲しくて苦しいように思えて、とても孤独です。もし、そんな方がいたら、「ひとりじゃないよ」とお伝えしたい。本にはそんな力があります。—

本の魅力をしっかりと感じ取っている方なのですね。

子どもたちにとっての「本」、身近な本……「教科書」になってしまうのでしょうか。活字に対する小さなトラウマを抱えたままの子も多数見受けられます。漢字を見れば「漢字テスト」、文を見れば「長文問題」。そんな意識を自然に身につけてしまった子たちに、ぜひ味わっていただきたい。

中江さんの今回の文章の中から発見した名言があります。

『私は、本はにげるための手段で道具だと思っています』